



2016年2月29日

**駅構内カメラ画像配信「駅視－vision(エキシビジョン)」の実証実験を開始します
～駅構内混雑状況の発信方法について検討します～**

東京急行電鉄株式会社

当社は、駅構内の様子をスマートフォンに配信する「駅視－vision(エキシビジョン)」の実証実験を、3月1日の「東急線アプリ」リニューアルに合わせて開始します。

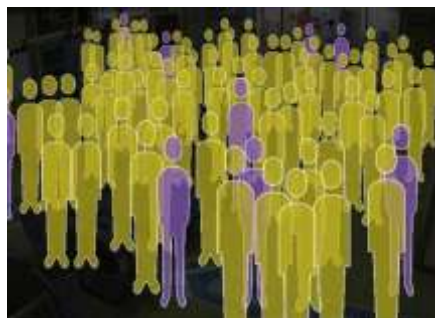
本実証実験では、東急線溝の口駅・あざみ野駅他計6駅の各駅改札・コンコース付近の構内カメラシステムからプライバシー保護の加工処理が施された画像を取得し、「東急線アプリ」に駅構内の様子として画像を配信します。今年1月の大雪などの荒天時や人身事故等、大幅な遅延を伴う運行支障が発生した際の混雑状況などをタイムリーにご確認いただけるようになることで、ご乗車の見合わせや迂回ルートを選択など、安全な行動判断の一助としていただき、お客さまにおかけする負担感の軽減や、東急線のさらなる安全性向上を図ります。

「駅視－vision」は、株式会社東芝、日本電気株式会社、株式会社日立製作所(以下、協力メーカー3社)のデータ加工技術を生かし、お客さま個人が特定できないようさまざまな工夫をし、さらにプライバシー保護にも配慮しています。なお、全ての運用、データ管理は当社が行い、協力メーカー3社は当社に対しデータ加工技術の提供のみを行います。

なお、本実証実験では、お客さまからのご意見をいただきながら、データ加工の処理方法や配信ツールについて改良を図ると共に、当社およびイツ・コミュニケーションズ株式会社などの当社グループの媒体での配信についても検討します。

当社は、今後も東急線の駅をご利用されるお客さまに、利用シーンに合わせた適切な情報を提供することで、安全、安心、快適な東急線を目指していきます。

以上



(配信画像イメージ)

別紙

<“駅視－vision“実証実験の概要>

□内 容:対象駅の改札・コンコース付近など駅構内カメラ画像にプライバシー保護の加工を施した上で、「東急線アプリ」に配信する実証実験です。運行支障が発生した際の混雑状況などをタイムリーに確認することができます。あわせて、お客さまからご意見をいただき、データ加工方法や配信ツールなど将来的な活用方法を検討します。

□実証実験対象駅ならびに実証実験期間

2016年3月1日「東急線アプリ」リニューアル時から配信開始。

- 田園都市線 溝の口駅(正面改札、南改札)
あざみ野駅(改札)

その他、以下の駅についても、複数のプライバシー保護加工技術にて、順次「東急線アプリ」上で配信予定。

- 田園都市線 三軒茶屋駅(コンコース)
二子玉川駅(コンコース)
- 東横線 武蔵小杉駅(正面改札、南改札)
日吉駅(中央改札)

□お問い合わせ・ご意見

本実証実験についてのお問い合わせ・ご意見については東急お客さまセンターにて承ります。

東急お客さまセンター

TEL:03-3477-0109

<http://www.tokyu.co.jp/customer/> (Web お問い合わせフォームよりお問い合わせください)

月～金 8:00～19:00 土日祝 9:30～17:30(年末年始などを除く)

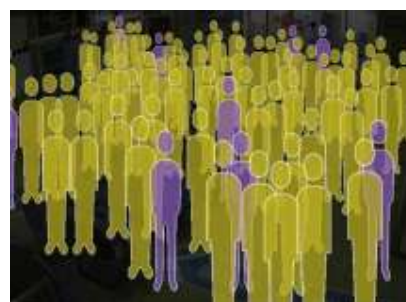
お客さまからのさまざまなご意見を踏まえて、今後の発信方法について検討します。

□駅構内画像配信方法

本実証実験に使用しているデータは、協力メーカー3社の提供したデータ加工技術を用いて駅構内カメラシステムから、プライバシー保護加工を施されたデータとして取得するものです。

この処理済データの取得から公開まで、外部からのアクセスが不可能な環境において行われ、個人情報ではなく匿名情報として東急線アプリ上に配信する実験です。

なお、加工されたデータは約5分おきに上書きが繰り返され、システム内には直近の匿名データのみが1画像分のみ保存されます。



(配信画像イメージ)